

くまきよしき

# 市政レポート

第10号

9月議会特集【災害につよい高岡を目指すために】

公式LINEはじめました！

情報発信やご意見募集に活用するため公式LINEも  
スタートしました。ぜひご登録ください！



高岡市議会議員

# 熊木義城

くまき

よしき

28歳

成美小、志貴野中、高岡南高、立命館大卒  
株式会社パソナグループ、  
京都市議会議員秘書を経て  
高岡市議会議員選挙に当選。  
現在1期目。会派「高岡愛」所属。

## 9月【9月議会質問特集】災害への備え、より良い対策・対応へ進めるべき！



令和5年度9月定例会が開催されました。今回は7月初旬の豪雨災害を受け、一般質問では多くの議員から災害対策に関する質問が相次ぎ、私からも災害対策について9点の質問をしました。改めて豪雨災害にて被害にあわれた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。7月後半から8月にかけて、床上浸水46件、床下浸水235件、また道路や農地など多くの被害が発生しました。今回の災害後、会派高岡愛として、また個人としても被害を受けた方々より、直接お声を伺う機会をいただきました。おひとりおひとりのお話を聞き、本市の災害対策への様々な課題も浮き彫りになってまいりました。そして災害発生時は初期対応と情報共有、迅速に対応するための地域ネットワークの備え、また金銭的な面を含めた支援の早さなど、備えておくべきことの多さを痛感させられました。様々なご意見をいただいたなか、現在の対応がベストではなく、よりベターな形を目指し、他自治体を参考にしながら次の災害に備えるべきという想いで9月議会では質問をぶつけました。今回の市政レポートでは、災害対策についての議論を主にお伝えします！

### 質問テーマ 補正予算に挙がっている排水ポンプ車と排水ポンプについて

今回は市内各地で浸水被害が出た際、国土交通省の排水ポンプ車が2台出動し、排水作業にあたりました。しかし今後も短時間の豪雨災害があることを懸念し、今回の補正予算案では、約1.5億円の予算をかけて高岡市単独で持つポンプ車などの導入を決めました。内容は排水ポンプ車が一台、またトラックに載せて排水作業ができる排水ポンプを2台購入し、市が所有することで迅速な出動が可能になり、排水能力を向上させることを期待しています。しかし重要なのは導入したあとです。今回も「なぜこのような被害がおこったのか」という原因の究明をという声が続きました。どのような体制で運営していくのか、人員は確保できるのか。また災害時に少しでも早く対応するため、定期的な訓練を行うべきではないのか。今後の運営方針や方法が明らかになってはじめて市民の安心材料になりうるという考えから質問しました。

**Q** 神奈川県川崎市では、排水ポンプ車の運営に詳細なマニュアルがある。人員配置から作業班の構成、またどの水位で準備態勢に入り、出動するか、運行ルートや作業手順などが明らかになっており、大変わかりやすい。事前にあらゆる事態を想定しておくために運用マニュアルを作成しておく必要があるのでは。

**A** 作業手順や出動体制などをあらかじめ定めておくことは当然であり、検討を進めているところである。

**Q** 他自治体ではポンプ車導入後、定期的な運用訓練をしている。例えば長野県安曇野市では排水ポンプ車運用訓練の様子が市のYouTubeで公開されており、見える形で発信することは市民の安心感にもつながる。運用訓練を定期的に行うべきではないか。

**A** 運用訓練は大変重要であるから、定期的に訓練を行う。現地訓練の実施を含め訓練内容を検討する。

市役所



くまきよしきの質問の様子がYouTubeで見られます⇒  
QRコードを読み取るか、YouTubeにて「高岡市議会 熊木」で検索！



## 質問テーマ ペットの避難問題について

今回、「ペットの同行避難はできないのか」という声をいただきました。これは全国的に問題になっており、先の熊本地震の際は、ペットを受け入れられる避難所がなかったため、避難所に入れず車中泊せざるをえなかったという話や、ペットを自宅に置いていけないという理由で、自宅に残ったところ避難が遅れ、被害にあったなどの話がありました。この課題はペット、飼い主だけにとどまらず、他の避難者にも影響する重要なテーマです。高岡でも地震などの大きな災害が起こった場合、避難所現場が混乱する恐れがあります。いまのうちに対策を考えておくべきではという想いを質問にしました。



**Q** まずは災害時にどのような対応が求められるか、飼い主の方々にしっかり周知しておく必要がある。京都市では「みんなで考えようペットの避難」と題して、飼い主さんの心構えから、具体的に避難の際必要なものまで、冊子にまとめられ、データがホームページ上に公開されている。これを参考に災害時のペット対応について、高岡市でもホームページなどを使って周知するべきではないか。

**A** 災害時にはペットと安全に避難できるよう、飼い主の方には平時に備えていただきたいと考えている。具体的にはワクチン接種の健康管理や避難後の食料、首輪やリードなどをあらかじめ準備していただくことであり、どう備えるべきか、ホームページなどでも周知してまいりたい。

**Q** 富山県内にはペット同行ができる避難先を確保している自治体はないのが現状。しかし宮崎市が地区センターや小学校に受け入れ可能な避難所を設置するなど、対応する自治体は増えつつある。高岡市でもペット可能な避難所の設置や、一部を受け入れ可能にするなどの対応を考えてはどうか。



**A** 現在は動物が苦手な方への配慮、鳴き声トラブルや衛生面などの観点から、居住スペースへの持ち込みは禁止している。屋外の設けるスペースへは飼い主の責任のもと飼育していただくこととしている。市としては施設の状況に応じて可能な限りペット同行避難者への配慮につとめる。

## 質問テーマ 災害支援の財源確保にふるさと納税を活用すべき！

災害が起こったとき、何にしても多額のお金が必要になります。道路や農地などを復旧することになりますし、また被害にあわれた方への損害も大変なものがあります。そこで、活用できると考えたのが「ふるさと納税」です。現在、ふるさと納税サイトでは「緊急災害支援」の特設ページが設けられています。この特設ページから、ふるさと納税として寄付をいただいた場合、自治体は返礼品を返す必要がなく、ふるさと納税サイトの利用料金も取られることはありません。つまり、いただいたふるさと納税がそのまま復興財源として高岡市に入ってくることになります。この特設サイトに窓口を設けている自治体はすでに多数あります。富山県内だと小矢部市はほぼすべてのふるさと納税サイトに申請して窓口をつくっています。少しでも財政支援がほしい非常時、高岡市でもこのような窓口をつくり、周知を行うことで、他県に住む高岡出身者をはじめとした多くの方から寄付を集められるようになります。すぐにでもやるべきということで、総務文教常任委員会で質問しました。



**Q** ふるさと納税サイトにある、災害時の特別窓口を高岡市でも開設できないか。小矢部市にヒアリングしたところによると、開設手続きは簡略化されていて、メールや電話一本で対応してもらえるとのこと。ぜひ検討をお願いしたい。また、7月の豪雨災害の特設ページは現在もある。今からでも申し込んではどうか。

**A** 災害時の財源確保手段としては有効な手段かと考える。今後検討していきたい。



今すぐ、ということにはなりませんでしたが、そこは今回被害にあわれた方々に申し訳なく思います。しかし、今後は導入について前向きに動く旨の答えはいただきました。この特別窓口では、今回の豪雨だけではなく、過去には豪雪災害にも対応している例もありました。高岡市では有効な手段だと思いますし、早期導入をより後押ししています。また、今回の災害については、私たちも至らぬ点が多かったかもしれません。いただいたご意見・お話に対して満足いく解決に導けなかった部分も多かったと思いますが、ひとつひとつ改善につなげられるよう、引き続きつとめていく所存です。これからも多くの方からお声をいただきたいと思います。

## 日々の活動はSNSから！

市政に対する  
ご意見やご相談など、  
SNSやメールにて  
承っております。



今回のチラシに関するご意見・ご感想など、どんな内容でもお気軽にお問い合わせください！

✉ y.kumaki26@gmail.com

🌐 <http://kumakiyoshiki.com/>

自由民主党「高岡愛」所属 熊木義城

熊木義城瓦版第10号編集・発行人：熊木義城  
933-8601 高岡市広小路7-50 高岡市議会

公式LINE  
はじめました！



令和5年10月20日発行 討議資料